

# 国立病院機構京都医療センター（京都府）

## 病床数

600床

## 病院の特徴

同院は、独立行政法人国立病院機構政策医療ネットワークの中で、内分泌・代謝性疾患の高度専門医療施設（準ナショナルセンター）、成育医療の基幹医療施設、がん・循環器・腎及び感覚器疾患の専門医療施設に指定され、その他、政策医療としてはエイズ治療・国際医療協力施設として位置づけられている。

また、高度で総合的な医療機能等を備えた施設（高度総合医療施設）にも指定されており、約4割をがん患者が占めている。さらに、SARS（重症急性呼吸器症候群）や鳥インフルエンザなどの多発する感染症対策として、SARS講習会を実施したり、陰圧式の隔離外来を設置するなど、地方自治体とも連携しながら、地域医療の向上にも努力している。

政策医療の実施にあたっては、診療のみならず、臨床研究、教育研修、情報発信の機能と一体となった医療提供体制を整え、地域の医療機関との密接な協力のもとに、きめ細やかな医療を提供し、その使命を果たしている。

## 医師数

170名（2007年4月15日現在）

## 初期研修医定員 1年次

単独型 10名（2007年実績）/たすきがけ 2名（2007年実績）

## // 2年次

単独型 10名（2007年実績）/たすきがけ 2名（2007年実績）

## 処遇

身分：非常勤職員

給与：約350,000円/月 通勤手当、宿日直手当は別途支給

保険：各種保険あり

宿舍：あり

## 研修プログラムの特徴

- ・診療科がそろっており症例が豊富
- ・診療各科の垣根が低く、気軽にコンサルテーションが受けられる
- ・内科ローテーションでは総合診療のみならず、早期から内科系各科の専門医の指導が受けられる
- ・京都府下に3カ所しかない救命救急センターの一つを擁する

- ・京都府下でも最も分娩扱い数が多い病院の一つである
- ・EBMを重視し、クリニカスパルの導入に積極的である
- ・院内各所よりインターネット・LAN利用可能でUp To Date、Cochrane Libraryも利用可能
- ・オーダーリングシステムが完備し、平成16年より完全電子ファイル化されている
- ・MSWの常駐する地域医療連絡室をもち、病診連携が密。
- ・大学病院との臨床研究面での連携が密である

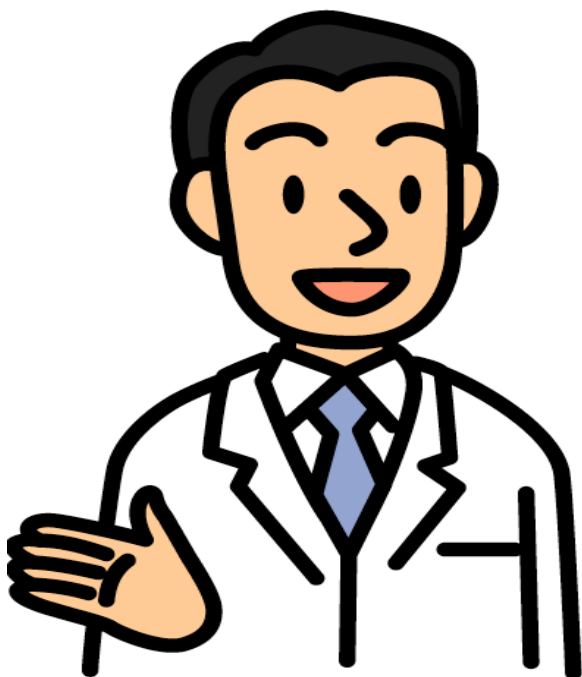
### 指導医から学生さんへのメッセージ

救命救急センターと総合内科を擁し、京都大学医学部附属病院では診る機会の少ないcommon diseaseや様々な疾患の急性期を経験することができます。

当直では、1、2年次もERチームの一員として一次から三次救急まで担当します。その結果については、毎朝救命科と総合内科の合同カンファレンスでレビューします。

当直の回数は月5-6回になりますので、それを覚悟の上、選択して下さい。

### 研修終了した研修医からのコメント



京都医療センターでは、2年次の研修医の先生方、レジデントの先生方をはじめ、先輩方はとても丁寧に指導して下さいと思います。各診療科間の風通しもよく、ローテート中以外の科の先生方にも教えて頂く機会が多くあったと思います。患者さんとのやりとりやルート確保や挿管など机上の勉強以外の事も多く学びました。

2006年度Cプログラム 研修医